



若者

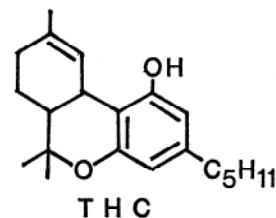
カルフォルニア州における マリファナ見聞記

広田和弘*

隣の研究室と合同で Technician の Birthday party を大学研究室の 1 室で行っている最中、突如男子学生数人が半時間程退席した。彼等は屋上に上りマリファナパーティを行ってきたのであった。またある夏、数人の学生と大洋に落ちる夕陽をみるため海辺の砂上に座ったとき 1 人の学生が砂の中から 3 cm ほどのタバコの吸いガラを見つけ火をつけ吸い出した。これはマリファナタバコの人の吸い残しのものであった。学生のアパートで行われた試験後のパーティーによばれた時である。食事もアルコールも適度にすましたとき、学生の 1 人が自分のガレージにゆき一握りの植物の葉をもぎ取ってガスオーブンで乾燥葉をつくり吸煙し始めた。自宅に大麻草を栽培していたのであった。これらは、カルフォルニア州最南端サンジェゴに留学していた私の体験である。現在でもマリファナ吸煙はアメリカの大学キャンパスを中心にして特に学生間に流行しているように見受けられる。この風潮が日本に持ち込まれ、特に芸能界・学生におけるマリファナの蔓延ぶりがジャーナリズムを通して世間の関心を集めている昨今である。これに関連して留学中見聞したものと最近友人を通じてアメリカ西海岸におけるマリファナの吸煙の現状についてインタビューしてもらった結果をとり混ぜ書いてみたい。しかし問題が問題だけに私の偏見になる部分も多いかと思うがお許し願いたい。

まず気にかかるのは有毒性の問題だが、タバコの喫煙者に共通する答と同じで、吸煙愛好者の弁は口をそろえてマリファナは有害であるという研究報告はなく、むしろタバコより安全で

あるという。ある雑誌の冒頭に 2～3 年後にはマリファナ吸煙は、法律上規制がなくなりマリファナの生理活性物質である Tetrahydrocannabinol (THC) のほとんど含有しない雄株大麻葉は無害のタバコ代替品として販売されるようになるだろうとまで言っている。これは言いすぎにしる、こういう運動があるのは事実である。



マリファナの習慣性は一言でいえば生理的なものからくるよりはむしろ精神的なものからくるようだ。このことは、マリファナの特有の吸煙法にあるようである。一担吸った煙をできるだけ息を止めて肺に存続させ肺からの吸収を促す。その間は次の人が吸煙する。このように回わし飲みし次に順番がくるまで息をこらえるというふうに数人サークルになってマリファナを楽しむ。このようにしてマリファナの空煙焼を防ぎ、有効に使用する。従って友人を必要とするところから誘いあい、お互いの友人の圧力によりマリファナの常用に陥るようである。この点は飲酒と共通するように見える。

吸煙はスーパーマーケットで売っている巻き紙でシガレットにする場合や、専用のパイプを使用したり、また手軽に実験室のトランスファービペットを利用する方法もある。また直接飲食する方法として Brownie mix 中に混ぜ調理する方法もあるが当然ながら効果が遅い。吸煙場所としては Police のいない Home, office, Back yard, Beach や実験室などである。

吸煙の効果はどんな風に現われるのだろうか数人に質問した結果、表現が難しく Experience することが一番だという返事だったが、次の事

* 広田和弘 (Kazuhiro HIROTA), 岡山大学薬学部, 生理化学教室, 助教授, 理学博士, 生物有機化学

を答えてくれた。この効果も飲酒に比べられるが大きく違う点はマリファナは more inward-less out going にさすことであるという。また集中力の減退を招くが軽い吸煙では反射神経は別条なく、吸煙効果中でも運転が可能であるともいう。さらにある学生は、あらゆる見るもの触れるものが自分を more enjoyable にしてくれる感情にかりたててくれるという。音楽を聞けば1オクターブの音階が2~3オクターブに分かれ音楽はよく聞こえ、映画を見てはおもしろく、食物の味は一層よくなる。従って個人差はあるが、0.5~3時間この効果が続くうちは grocery store に行くべきでないと忠告を与える。なぜなら、おかき類、キャンディー、チップ類など安くつまらぬものでもすべておいしく見えて多く買い込んでしまうからだという。大量吸煙では、平衡感覚、ねむさ、だるさを招く副作用がでるといふ。Sex についての効果はいわゆる催淫効果はないが、吸煙による Relaxation が Sexual feeling を誘発し Sexual activity がたしかに高まる結果になることは否定できないという。時間と空間感覚が狂ってオルガスムが強く長いように錯覚することで、通常の吸煙後では "Sex is fantastic" と答えた者もいた。しかし上記の効果に個人差は大きいようだ。

マリファナの取引は主として大学内で、決してテレビドラマに出てくるような陰湿なものではない。品質すなわち THC 含量によって価格は定められ法外な価格による取引は少いようである。大麻の産地及びマリファナの調整法によって色々の呼称され1オンス (lid) 単位で取引される。Mexican commercial は15ドル、Columbian や Panama-Gold は80ドル、そして Sensimian に至っては180ドルもする。このように産地によって品質が変わるのはどうしてであろうか。大麻草は1年草木で Cannabis sativa Linne (クワ科) という単一種でもあるにもかかわらず気候、土壌により大きく THC 含量を異にする。大麻草は水分を適度に補給される所では茎直径5cm、高さ6mにも達し、繊維原料として価値が高いがどの部分にも THC をほとんど含まない。雨がほとんどなく日照時

間も長く空気、土壌が乾き切っている地方、例えば夏には耐え難いメキシコの Sinaloa や michoacan (赤道から1,700km北にある) では、THC 含量の高いマリファナを産生できる。

(事実アメリカでのマリファナ80%はここから不法に飛行機、船、トラックにより輸入されている。)このような苛酷な条件では葉、花穂等重要な部分は THC を含有する樹脂を分泌して自らを保護するようになる。この作用は雌株に強く現われ、その内で受精直後の花穂に最大であり種子になるとほとんど含まれない。この時期の雌花穂と共に上部葉は価値が高い。一方雄株植物のすべての部分にはほとんど含まれない。従って麻草の雌雄、部分により価格は大きく変動する。

日本の学生と比して決して裕福でないアメリカ学生は年々インフレで高騰するマリファナを買い続けられるだろうか。サンジェゴでは気候的に大麻草の屋外栽培が可能であるが、警官の目に触れやすい欠点を持つのでガレージ、裏庭、地下室、屋根裏部屋等で、自家栽培する方法がとられがちである。この屋内栽培で、24時間、適切な波長と強さをもつ照明で早ければ3カ月、ふつう5~6カ月で Columbian に相当するマリファナを収穫できる。カルフォルニア州では法的に日本と同様厳しく禁止されているが、運用面でははるかに寛大で、サンジェゴでは2~3本の大麻草の栽培は大目にみられている。また1オンス以下の所持に関しても軽罪で交通違反に配られる Ticket のようにして100ドルの罰金ですむという。しかしそれ以上の所持は、商取引とみなされ裁判となり弁護士を要求され重罪となる。

弁護士・医師といった上流階級や小中学生にもマリファナ吸煙がみられるというが、やはり大学生に多いのは Conservative な気質を嫌い自己の幸福をどこまでも追求しようとするアメリカの若者気質からくるのであろうか。しかし1960年頃からヒッピーによって始められ、現在のマリファナ旋風に至っているものの、これもアメリカにおけるポルノと同様いつかはすたれる運命にあると思われるのだが。